

別紙1 「ごみ分別方法の統一について」 市民説明会で出された意見・質問

(出された意見や質問について、大まかに分類したものです。同類のものはまとめてありますので、意見等の多い少ないは表しておりません。なお、質問については質問者にはすでに回答済みですが、紙面の都合上、ここでは回答を省略してあります。)

【意見】

(1) 現行制度への評価など

- せっかく住民が協力してやっていることを変える必要は無い。
- 細かく分別・再利用している大東・大須賀の仕組みは良く、きれいにできているのに、何故変更する必要があるのか。
- 現在の仕組みで不平不満を言う人は特におらず、みんな協力し合っている状況である。
- 分別について、大東・大須賀の分別方法は、いわゆる「協働」のあり方そのものだと思う。市民や区の役員に分別をさせない今回の市からの提案は、協働のまちづくりに逆行するのではないか。
- 今まで、外国人の人たちにも頑張って説明し、ようやく理解してもらえるようになったのに、全てが無駄になり、また混乱する。
- 現行より、手がかからないという点ではいいかもしれない。

(2) 制度変更への不安など

- 現場では人と話して分別を行っているが、袋出しの方法だとそれが難しくなると感じる。
- 間違っって不燃ごみを出し、収集されないごみが増えるのが心配である。
- アパート住民への周知を考えてほしい。
- ガラスや割れた瀬戸物などを紙でくるむ、刃があるものを紙でくるむとあるが、袋に入れて出すとこぼれて危ないし、紙がムダになる。コンテナ回収のほうが良い。
- ごみ減量大作戦の目的は、ごみを減らすことが目的ではないのか。今回の変更は逆効果ではないか。
- 小型金物の量が多い。そのため、袋回収にすると袋が破れてしまうのではないか。
- 人が見ていないと、違う物が入ってくる可能性がある。不正に出された場合、市が見てくれるのか。確実に持っていってくれるのか不安である。
- 指定袋にたくさんいろんな物を入れたら破けてしまうのではないか。
- 布と骨をばらしていない傘が出た場合、今はその場で分別しているが、袋だと取り出して行うことになり袋が破れたり、取り出しづらかったり手間がかかるのではないか。

(3) 経費など

- 大東・大須賀区域では住民が分別しているので、環境資源ギャラリーで分別している職員は要らないのでは。業者のために委託しているのではないかと思う。
- 業者がコンテナを配布する費用がかかるのなら、区でコンテナを買って常設する案もある。
- 現在のコンテナ回収なら、ギャラリーでの分別費用はかからない。わざわざ人件費をかけてやる必要は無い。
- お金が市に入るが、使い道について明らかにされていないのでわからない。
- 実際に現在の方法と掛川区域の方法とどちらが経費がかかるのかがわかりにくい。
- 少量でも、袋に入れないといけないというのは袋も値上がりする中で負担増である。
- ごみ減量に貢献した区に報奨金等を考えるべきである。

(4) 時期、進め方など

- もっと前に統一ができなかったのか。今までやってきたのが無駄なことだったととれる。
- 合同の処理の時に統一すべきであった。
- 合併から10年近く経っているが、なぜこの時期に統一なのか。
- 有料化にしても、分別統一にしても、年度途中では混乱するため、たとえば平成27年度の4月といった年度初めにすべきである。
- 値上げと分別の統一はそれぞれ別にやったらどうか。

(5)統一に伴う分別方法変更など、その他

- ・スプレーについて、説明の中で穴を空けない方法で検討しているとあったが、スプレーを空にするには、穴を空けないと不可能。穴を空ける方法でお願いしたい。
- ・スプレー缶を黄ネットに入れることになるが、コンテナの方がやりやすいので検討してほしい。
- ・回収ネットは新規になるのか。今までのものを流用する場合、収集物の表示の書き換えをしないとトラブルの元になる。
- ・分別方法の変更点で白色トレイの部分はすぐに変更にならないか。ごみ当番が分別で苦勞している。
- ・小型家電ボックスの設置場所が本庁舎と支所のみは少ないのではないか。
- ・どうやって出すのかについては、もっと細かな表現が必要ではないか。たとえばコードをどうするかなど。きちっとしてもらえたら、伝わるのではないか。
- ・保全センターがあったときは、粗大ごみも5分くらいで捨てにいったのに、合併したら40分以上かけて掛川に持って行かなければならなくなった。そういった負担も考慮すべき。ごみ処理にかかる市民負担は金銭だけでなく時間や手間についても公平にすべきだ。
- ・高齢化にともない、粗大ごみ等は搬出が難しくなっている。持って行ってもらう制度は検討できないか。
- ・蛍光管を割れないように入れる専用のコンテナを用意してもらいたい。
- ・収集時間を8:30からにするのはクリーン推進員のいない時間が30分できるので、持ち去りされる恐れがある。

【質 問】

(1) 制度の運用など

- ・今まで行っていたクリーン推進員と地区の人の立ち会いはやらなくて良いのか。
- ・出し方が変わると立ち会う人を増やさないといけないと思うが、掛川区域では問題は無いのか。
- ・かん・びんの回収コンテナはどこに置くようになるのか。
- ・大東・大須賀方式についての苦情は市に入っているか。

(2) 経費など

- ・コンテナ回収は、事前にコンテナを配布し、その後回収するので2度手間となり、コストがかかるというが、そのとおりか。
- ・環境資源ギャラリーへ直接持ち込む費用は、いくらか。
- ・燃えないごみはこれまで区役員が汗水垂らして分別してきたので、分別費用は発生してこなかったが、指定袋を導入することで有料になるということか。

(3) 分別方法の詳細など、その他

- ・小型家電を回収ボックスに出す場合は、裸で出して良いのか、袋に入れるのか。
- ・年寄りには正直、選別が分からない。今日も電池を入れるコンテナにバイクのバッテリーを出されてしまい、そのままでは持って行ってくれないので、業者が来るまで自分が残って立ち会った。袋に入ればそんなものも持って行ってくれるのか。
- ・蛍光灯などは箱などに入れて出すとのことだが、名前は書くのか。
- ・不燃物は月に一回回収か。
- ・購入時の体温計等の容器でないと捨てられないのか。
- ・袋に入らないものはギャラリーに持って行かなければならないのか。
- ・現在、地区で古紙の回収を行っているが、それはかわるのか。
- ・金物類など袋に入れるのが危険な物はどうしたら良いのか。そのやり方だとかえって個人の負担が増える。それがギャラリーでどうなるのか。
- ・収集されたりリサイクル・資源ごみをどのように処理しているのか。

(4) 今後の進め方など

- ・議会の議決が出たらすぐに方法が変わるのか。平成26年度中とあるがいつか。
- ・今回の説明会の報告はどうするのか。納得したと説明するのか。分別方法の統一化に反対と報告するのか。フィードバックはどうなのか。議会にはどう説明するのか。
- ・分別方法について区内で話し合っって意見を統一できれば、うちの地区だけでも掛川区域と同じようにしてもらえるか。